

京丹波

議会だより



京丹波町
KYOTAMBA TOWN

第36号

平成25年10月17日

発行 京都府京丹波町議会



田んぼアートの古代米（黒米）を刈り取る子どもたち（下山白土区）

9月 定例会

- 2P 24年度決算を認定 不納欠損処分に9,600万円余り
- 6P 25年度補正予算 災害復旧費用に2億1千万円余りを計上
- 8P ここが聞きたい 一般質問に10人 拡大するサル被害対策についてなど
- 18P 第2回臨時会 小型動力ポンプ付積載車購入契約など
- 19P 第14回 追跡調査 あれからどないなっとるんや～
- 20P 人(ひと)——^{まさおかゆうき}正岡佑基さん・^{のぞみ}希美さん(広野区)



(注1) 不納欠損処分に 9,600万円余り(特別会計を含む)

するもゴルフ場の倒産もあり
多額の不納欠損金額を処分

●平成24年度 一般会計決算収支状況●

一般会計	収入	支出	差引額	翌年度繰越額	差引実質収支額
	124億4,468万円	120億3,561万円	4億907万円	6,735万円	3億4,173万円

●平成24年度末 一般会計貯金・借金●

貯金(基金)	41億9,330万円	借金(地方債)	142億5,107万円	借金(土地公社)	7億9,133万円
--------	------------	---------	-------------	----------	-----------

●平成24年度 町税収納額・不納欠損額・滞納額及び収納率●

科目	区分	収納額	不納欠損額	収入未済滞納額	収納率・%
町民税(個人)	現年分	4億9,745万円	—	970万円	98.1
	滞納分	1,735万円	235万円	2,631万円	37.7
町民税(法人)	現年分	1億2,816万円	11万円	87万円	99.2
	滞納分	72万円	13万円	200万円	25.2
固定資産税	現年分	8億5,596万円	91万円	1,159万円	98.6
	滞納分	2,494万円	8,075万円	1億2,245万円	10.9
軽自動車税	現年分	4,579万円	1万円	113万円	97.6
	滞納分	108万円	39万円	308万円	23.7
たばこ税他	現年分	1億218万円	—	—	100.0
合 計		16億7,363万円	8,465万円	1億7,713万円	86.5

25年 第3回定例会は、9月3日から24日間開催されました。
定例会には24年度一般会計決算、人事、補正予算など40議案が提案され、うち38議案を可決・承認し、1議案を否決、1議案を不採択としました。一般質問には10人の議員が立ち、38項目について執行部の所見を求め、疑義をただしました。

一般会計決算

24年度の一般会計決算認定議案が提案され、質疑・討論・採決の結果、認定しました。
〔賛成12 反対3〕

主な質疑・討論

(歳入関係)

問 固定資産税の不納欠損額が膨大となった理由は。

課長 町内ゴルフ場の破産に伴う処分金7600万円余りが主な要因である。

問 多額の未納金を出したゴルフ場に、なぜ事前の差し押さえができなかったのか。また、欠損処分の判断はどこがしたのか。

課長 抵当権の設定や搜索を行った。町、京都府及び税機構の判断である。

問 倒産後、新たに開設されたゴルフ場に副町長が役員として就任されているが、町に経営責任が及ぶのではないか。

町長 町の発展に寄与できる企業として受け入れた。経営責任は及ばないと考える。

副町長 破産後の荒廃

を心配した。町が元気になればとの思いである。

問 不納欠損処分額は極めて多額であり、企業であれば即倒産である。この事態をどのように認識しているか。

町長 企業では経営責任が問われ倒産すると思うが、理解を求めたい。

問 企業では欠損金処分後も未収金管理がされているが対策は。

町長 民間企業の処分方法が行政にも生かせないか今後検討をしていきたい。

問 金融機関からの再引き落としや、コンビニ納付の提案があったがその後の経過は。

町長 システムの導入により、コンビニ納付は可能となる。再引き落としも含め、さらに具体的に検証していきたい。

問 長期収入未済は、不納欠損となりうる予

平成24年度 決算

財政状況は 改善されるが

(注2) 実質公債費比率14.4%に改善
固定資産税を始め



周辺整備が求められる遊歩道（琴滝小滝池周辺）

備軍である。分類別管理など適切にできているのか。

課長 勉強会を重ね、研究している。現在は収納管理システムの中で滞納の名寄せシステムを活用している。

問 C A T V 收支の状況がつかめない。企業会計をなぜ採用しないのか。

課長 現在のところ考えていないが、今後、一つの手法として検討

したい。

問 C A T V の前年度未収金額は間違いではないか。未収金管理と再発防止対策は。

課長 採用したシステムに不具合が生じ、間違いがあった。今後は再発防止に努める。

問 24年度分差し押さえによる自主納付額は、

1344万5千円である。

（歳出関係）

問 琴滝の小滝池周辺は水辺公園として整備されている。損傷が激しいが改修する考えはないか。

課長 確認して修繕など必要な箇所は検討していきたい。

問 広域農道は町道として管理すべきではないか。

課長 将来は町道認定が望ましいと考えている。他の路線と調整のうえ検討したい。

問 新火葬場建設計画の経過と今後の見通しは。

町長 候補地が南丹地域に絞られて、基本設計までの予算が認められた。

問 緊急通報システムは、健康な人でもひとり暮らしであれば設置可能なのか。

課長 可能であるが、申請の段階で民生委員の意見も聞いて判断を

している。

問 先行取得用地の買い戻し後の有効活用は、

都度、有効活用を図っていく。

問 瑞穂環境保全センター監視委員会助成金が大幅な引き上げとなっている要因は。

課長 町とは別に、猪鼻区監視委員会でも水質検査をされているため、その費用の助成金としての増額である。

【注1 不納欠損処分とは】

倒産や死亡などの理由で徴収が行えず、今後も見込みがたないため、自治体が法律に基づきその徴収を断念すること。

【注2 実質公債費比率とは】

国が決めた「その自治体が、自分で使った道を決めて使えるお金はこのくらい」という金額のうち、借金返済に使っているお金の割合のこと。

討論

反対 東 まさ子 議員

税の不納欠損処分、先行取得用地の買い戻し、原子力防災計画など、町の責任が果たせていないため反対。

賛成 横山 勲 議員

財政の健全化に対する取り組み、安心して暮らせるまちづくり、産業活性化の取り組みなど評価し賛成。

反対 山田 均 議員

特別職は、倫理が強く求められる。親族グループとの契約、副町長のゴルフ場の理事就任などを指摘し反対。

賛成 山内 武夫 議員

財政健全化を念頭におきながら、医療体制の充実や防災、鳥獣被害対策などの分野に目配りされており賛成。



●平成24年度 特別・病院会計決算額●

主な特別会計	収入額	支出額	採決結果	
			賛成	反対
国民健康保険事業	19億5,748万円	19億26万円	12	3
後期高齢者医療	2億339万円	2億39万円	12	3
介護保険事業	20億7,872万円	20億6,760万円	12	3
水道事業	14億956万円	13億7,161万円	12	3
下水道事業	9億1,874万円	9億1,817万円	全員賛成	
育英資金給付事業	268万円	268万円	全員賛成	
町営バス運行事業	9,221万円	9,187万円	全員賛成	
国保京丹波町病院	9億3,225万円	9億30万円	全員賛成	

●特別会計決算●

24年度の15特別会計決算認定議案が提案され、質疑・討論・採決の結果、全議案を認定しました。

●平成24年度末 特別会計貯金・借金●

貯金（基金）	14億5,364万円	借金（地方債）	182億3,105万円
--------	------------	---------	-------------

主な質疑・討論

国民健康保険事業

問 短期証は何人に交付されているのか。手元に届いているのか。

課長 112世帯に交付している。居所不明の方もあり、現時点での未交付世帯は73世帯である。

問 全国平均の医療費との比較は。

課長 23年度の事業概要では、1人当たりの医療費は30万9725円で、国レベルでは1人当たり25万4254円である。

反対討論 東 まさ子 議員

府内19自治体が実施している一般会計からの基準外繰り入れを行い、保険税を引き下げるときであり反対。

賛成討論 原田寿賀美 議員

憲法で保障されている生存権の最後の砦としての制度であり、保

険税の引き上げ据え置きを評価し賛成。

後期高齢者医療事業

問 後期高齢者広域連合による医療費の動向は。

課長 本町では過去と比べて伸びているので、広域連合も同様であると思う。

反対討論 坂本美智代 議員

この制度は医療費と人口が増えるに従い保険料が上がる。高齢者には安心して病院に行ける制度ではなく反対。

賛成討論 松村 篤郎 議員

住民健診の受診率向上へ向けた高齢者への働きかけと、広域連合の安定した運営を期待して賛成。

介護保険事業

問 施設入所の状況は。

課長 特養施設に188人、老健施設に68人である。

問 ヘルパー不足の解消策は。

課長 ヘルパー養成講座を18人受講し、14人が就労した。

問 特別徴収と普通徴収の人数は。

課長 特別が5451人、普通が821人である。

問 老健施設の利用期間が3カ月更新と決まっているのか。

課長 3カ月ごとに必ず見直しはするが、調整・相談などに応じている。

反対討論 坂本美智代 議員
保険料の引き上げやサービスの削減が行われた。現場の実態を把握し、目的に沿った制度の改善を求め反対。

賛成討論 篠塚信太郎 議員
事業収支が黒字で、給付準備基金も積み立てられ、第5期介護保険事業が的確に計画されていると評価し賛成。

水道事業

問 不納欠損92件の内訳は。

課長 死亡、居所不明、倒産など実人数は34人である。

問 専門徴収員の成果は。

課長 24年度は110回訪問徴収し、350万円回収した。

問 過去3年間の使用水量の推移は。

課長 23年度と24年度では少し減少した。

問 畑川ダムの負担金は今後発生しないのか。

課長 ダム本体の事業は終了したが、管理部門の費用は発生する。

問 竹野浄水場など老朽化した既存施設の対応は。

課長 28年度までに統合事業が完成した段階で、既存施設の老朽化については対応したい。

反対討論 山田 均 議員
ダムの水を必要とする人口目標を4割も減

らし、企業が水を必要とする時期も不明であり反対。

賛成討論 北尾 潤 議員

ダムの完成により、現在の安定した水の供給とともに、企業誘致など未来に対して希望が持てる決算であり賛成。

下水道事業

問 35人槽の浄化槽の設置者と場所は。

課長 自然運動公園正門前のふれあい広場が設置した。

問 本町の中心地でも下水処理がされておらず、浄化槽も設置されていないところがある

が。

課長 高齢者世帯や空き家など個別な事情もあり難しいが、100%に近づける努力をしていきたい。

土地取得事業

土地取得事業

問 本会計は利子を基金に積み立てるだけの会計であるが、一般会計に組み込んで。

課長 土地開発基金がこの会計に所属していることが根拠であるが、検討していきたい。

町営バス運行事業

問 電気料金の収入未済があるが、経緯は。

課長 JR和知駅の喫茶部と切符販売を担っていた和知駅振興会の未納分である。現在は解散しているが、関係者から少しずつ徴収している。

賛成討論 梅原 好範 議員

さまざまな制約の中

で担当課による研究と努力のもと、最も効果的・効果的な事業運営がなされており賛成。

京丹波病院事業

問 一般会計からの繰り入れはいくらか。そのうち基準外繰り入れはいくらか。

課長 2億3848万円の繰り入れのうち、基準外は約41万円。企業債の償還2437万円余りのうち約814万円が基準外である。

問 損益勘定留保資金(注3)を決算書に明記すべきでは。

課長 新公営企業会計へ向けての改正の準備の中で見極めたい。

問 患者側から希望しないジェネリック医薬品を使えない状況だが、医者側から提案することで当医薬品を推進できないか。

課長 患者が選ぶことが基本だが、医者や院

外処方の方の薬剤師から推進すること、昨年の12%から今年は50%を超えるようになった。

【注3】 損益勘定留保資金とは

減価償却費や資産減耗費など、実際には現金支出を伴わない企業内部に留保される資金のこと。収入が不足する場合の補てん財源となる。

賛成討論 松村 篤郎 議員

経営の効率化が進められ、先端医療機器導入による早期発見・治療への期待も膨らむ決算であり賛成。

監査報告

財政の健全化に対する取り組みが継続して進められている。借金である地方債は、繰上げ償還及び新規起債の発行抑制により縮減され、貯金にあたる基金は、事務の効率化や人件費の縮減などに努められ、平成19年度以降は財政調整基金を取り崩すことなく健全な財政運営がされている。

今後は、合併特例期間終了に伴い交付税が約11億円減少することが見込まれ、また合併後最大規模の事業である丹波PA(仮称)と一体的な地域振興拠点施設整備が進められていることなどからも、一層の歳入確保と経費節減が求められる。

特に歳入の確保は、負担の公平性を図る観点からも収入未済をなくす努力が必要である。

町行政は、住民の福祉向上が最大の目的であり、経費節減とのバランスを図らなければならない点を申し添え、監査意見とする。

監査委員 船越 肇・小田耕治



早期の復旧を目指し 町独自で災害復旧費用を追加補正

● 補正予算 ●

24年度決算見込みによる繰越金や本年度の普通交付税などの確定による補正。さらに、台風18号豪雨による災害復旧費用が追加補正され、全議案を可決しました。

主な補正(一般会計)

財政調整基金積立	1億8,000万円
先行取得用地活用対策基金積立	3億1,293万円
町有地整地工事	3,600万円
自治振興補助金事業	928万円
シカ捕獲強化事業奨励金	341万円
CATV施設管理事業(管理委託料他)	1,448万円
災害復旧費用(台風18号関連)	2億1,300万円

一般会計

問 蒲生野地内の町有土地整備費に追加補正がされているが活用の目的は。

課長 当初予算は概算であり、その後、農業法人から活用について提案もあり追加した。

問 自治振興補助金の利用は何件か。また今後、公民館の耐震対策について計画的に立てるべきではないか。

課長 利用は18団体である。耐震対策については今後検討したい。

問 台風18号被害、府による被災支援が実施されると聞く。本町の対策は上積みとなるのか。

町長 今後要綱をつくる。前向きに検討したい。

問 建設協同組合と災害協定を締結したが今回事例があったのか。

参事 今回は職員により災害調査ができたため、協会には要請をしていない。

め、協会には要請をしていない。

問 農地への大量の土砂流入に伴う撤去費の補助は。

課長 工事費2万円以上40万円未満で業者に依頼し撤去する場合は、費用の50%を補助する。また、農業用水路などの復旧工事を地元組織で実施する場合は、費用の70%を補助する。

反対討論 山田 均議員

町有地の整備工事は目的を明らかにすべき。副町長の民間企業の理事就任は、公正・公平な行政とは言えず反対。

賛成討論 梅原 好範議員

長年の課題であった先行取得用地問題の解決。さらに地域支援の継続強化を明確に町民に示す予算であり賛成。

国民健康保険事業会計

問 保険税が減額となった要因は。

課長 基準所得の減少によるもの。

後期高齢者医療会計

問 人間ドックの追加は何件分か。

課長 11人の追加分および、脳ドックの増加によるもの。

病院事業会計

問 患者数が減少していると思うがどうか。

課長 通年秋口の農繁期頃は減少する。通院患者数は、例年と変わらない。

問 建築後約8年しか経過をしていないのに、雨漏りがするのはなぜか。

課長 原因を究明し、早急に補修したい。

問 病院付近は町の施設が集まる場所であり、河川改修が必要であると考えているか。

町長 対策が必要であると考えている。

町行政情報ネットワークシステム更新に係るパソコン購入契約

老朽化に伴う行政ネットワークワークシステム用パソコンを更新するため、(株)堀通信と9219万円で契約し、納期は26年3月20日までとするもの。

問 デスクトップ型320台、ノート型10台に機種を振り分け、導入する理由は。

課長 机上での作業性と拡張性、セキュリティを考慮した。また、ノート型については片外持ち出し時の利便性を考慮し計画した。

問 リース契約の検討はされたのか。

課長 検討の結果、買い取りが有利であった。

〔全員賛成〕

請願

船井北桑田民主商工会および全京都建築労働組合船井支部から提出された、「政府に対し『消費税増税中止を求める意見書』の提出を求める請願」

問 町内の景気動向を勘案する議論はなされたか。

委員長 景気動向や超高齢社会に向けた財源不足などを論点とし慎重に審議した結果、税率引き上げに反対のみでなく対策の必要が求められ不採択とした。

賛成討論 山田 均 賛
世論調査でも7割以上が4月からの増税中止を求めている。国民には増税、大企業には減税となるため採択。

反対討論 森田 幸子 賛
社会保障を支えるために重要な財源となる消費税だが、増税を中止にしたときの対策が示されておらず不採択。

反対討論 北尾 潤 賛

国家規模の問題であり、1地方自治体の委員会や議会で方向性を出す問題としてはふさわしくないため不採択。

意見書

「4月からの消費税増税の中止を求める意見書」について
提出者 東まさ子議員 賛同者 2人

問 消費税を値上げしない場合、社会保障などの財源不足をどのように賄うのか。
提出者 消費税を上げないことが最良の財源確保と考える。

賛成討論 山田 均 賛
消費税引き上げの景気対策は、公共事業や法人税減税、投資減税などより、増税延期の方が良く賛成。

〔賛成5 反対10〕

「道州制導入に反対する意見書」について

提出者 山内武夫議員 賛同者 3人

問 道州制の採用によるメリットも考えられるが、現時点で反対とする理由は。

提出者 地方末端の意向を無視しながら進められることに危惧をしている。

〔全員賛成〕

発委一号・二号

議会運営委員長より議会会議規則、傍聴規則について、会議の円滑な進行を重視した改正案が提案された。

〔全員賛成〕

人事

人権擁護委員候補者の推薦
前谷 幹夫 (下山) 再任

〔全員同意〕

各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

審議結果	議員名	議員名															
		小田 耕治	篠塚 信太郎	村山 良夫	梅原 好範	横山 勲	山田 均	東 まさ子	岩田 恵一	松村 篤郎	坂本 美智代	西山 和樹	原田 寿賀美	北尾 潤	森田 幸子	山内 武夫	野口 久之 <small>(議長)</small>
可	25年度一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	—
	24年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	—
	24年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	—
	24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	—
	24年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	—
	24年度水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	—
不採択	政府に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	—	
否	4月からの消費税増税の中止を求める意見書	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	—	

議長は採決には加わらない。○は賛成、×は反対

一般質問 **ここが聞きたい**

地方自治は二元代表制であり 相互に干渉すべきでない



村山 良夫 議員

町長 権限は異なるが、両者の立場を尊重すべきである

問 町長の後援会が現職議員に、役員就任を要請されたことを知っているか。

町長 知っている。

問 役員就任要請は、議員活動への干渉になると思わないか。

町長 思わない。

問 この要請に応じ、役員に就任されたことを知っているか。

町長 就任されたことは知っている。

問 町長と議員は対等の立場というが、予算編成権を有する町長が優位では。

町長 そうは思わない。

問 議員の自由な発言は、地元事業の予算化に支障をきたすことはないか。

町長 支障をきたすことはない。

町長と職員のあり方

問 町長と職員の関係は、町長に人事権がある以上、町長の優位はゆがめられない。その

ことにより、職員が萎縮することはないか。

町長 職員が萎縮することのないよう職員と一丸となって行政に努めている。

24年度決算について

問 このたびの台風のように想定外の天災から、町民の安全を守るため、社会資本として投資してきた道路・橋・公共施設を管理する必要がある。そのためには、新公会計制度に基づく減価償却台帳の作成が急務でないか。

町長 対象物件が膨大であり、台帳の作成には時間を要する。台帳による管理と現場を見る力で防ぐしかない。

問 新公会計制度により財務書類として公表されている数値によると、町民1人当たり307万円、1世帯当たり1千万円強の資産になるが、これは信頼できる数値か。

町長 公表どおり読んでいただいたらよい。

愛のある政治とは

問 政治家の愛は、弱者に注ぐべきと思うが、町長の見解は。

町長 そのとおりである。

問 丹波PAの土砂運搬工事に使用する路線変更は、地域への配慮不足でないか。

町長 全町的、全地域的に協力をあおがないといけない状況であり、理解いただきたい。



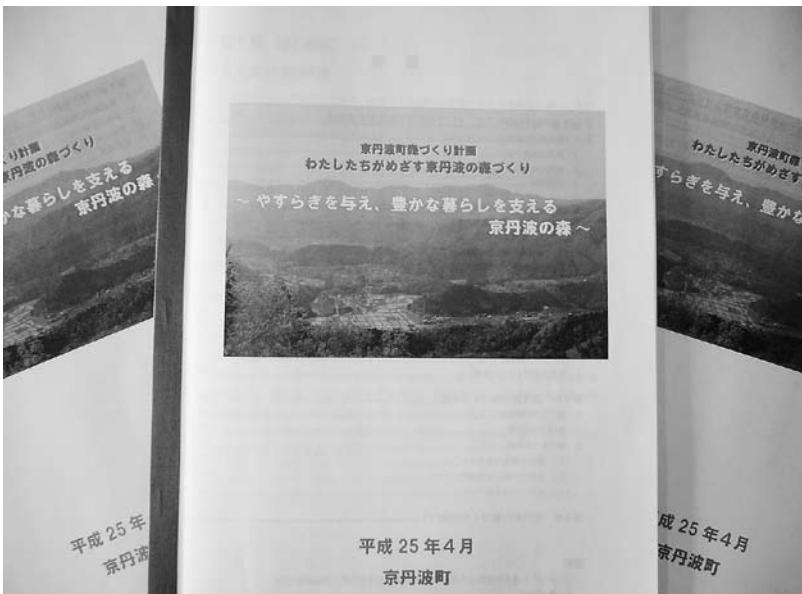
工事によるダンプラッシュ（曾根地内）



原田 寿賀美 議員

有害鳥獣対策、特にサル・カワウ駆除強化を

町長 サル駆除対策を、和知地区で実験中である



策定された10年間の森づくり計画

問 サル・カワウの被害対策は。

町長 サルの捕獲活動を和知地区で実験的に実施している。また、カワウは、有害鳥獣対策の一環に位置付ける。

道路・交通 行政について

問 府道広野綾部線の

立木地内工事の見通しは。

町長 京都縦貫道工事の作業道路として使用されており、工事完成後、1日も早い生活道路としての供用を要望する。

問 府道市島和知線の大簾地内工事の見通しは。

町長 用地買収が難航していたが、府において進めていただいております。進捗するよう連携していく。

問 町道角・広瀬線の改修工事の見通しは。

町長 現在は応急処置であるが、早期に改修工事を実施する。

問 町道の除雪作業の範囲と基準は。

町長 丹波地区24路線、瑞穂地区95路線、和知地区50路線で、積雪10cm以上である。

問 和知・瑞穂間の連絡道路計画は。

町長 既存道路の改修をお願いしているが、和知・瑞穂の連絡道路も必要と考えている。

農林業対策について

問 農業の後継者の育成対策は。

町長 国・府の事業を活用しながら、町独自の対策も策定し、農業を守っていく。

問 京丹波町森づくり

計画が制定されたが、その内容は。

町長 10年計画で、森林の保全から生産活動まで幅広い内容。森林文化のまちづくりを推進していきたい。

教育行政について

問 小・中学校に、カヌークラブを設置する考えはないか。

教育長 学校からは聞いていない。新たなクラブ設置は難しいと聞いている。

問 幼保一元化の導入時期であると考えるが。

町長 子ども・子育て審議会で審議していた。体罰やいじめの実態把握はできているのか。

教育長 体罰については、年に1回のアンケート調査、いじめについては、年に2回の調査を実施し、体罰・いじめ対策に努めている。



次期町政運営に対する 考えは



岩田 恵一 議員

町長 100年の体系に立った町づくりを進めたい

問 定例会初日に2期目出馬の意思表示があったが、町政運営の柱は。

町長 循環型エネルギー政策や畑川ダムを活用した企業立地、さらに高速化時代に適応した、100年の体系に立った町づくりを進めたい。

農業振興対策における行政の役割とは

問 農業環境を取り巻く状況は日々悪化の一途にあり、行政の役割は重要である。農業施策と支援策は。

町長 町独自施策の充実に、国・府制度により、いまある資源を有効に活用した施策と支援をしていく。

問 有害鳥獣対策の抜本的な取り組みに農家は期待している。今後夢が持てる施策は。

町長 地産地消を始め、生産意欲を刺激する独自施策を一層充実させる。有害鳥獣対策も被

害の軽減化に向けた効果ある総合的な施策に取り組む。

京丹波町病院で人工透析を

問 人工透析患者の利便性を向上するため、京丹波町病院での受け入れはできないか。

町長 専門資格医師や技術者の確保、専門棟の建設など多くの課題もあり、現状では困難である。

教育委員会の役割と制度改革

問 教育委員会改革は、教育委員を選挙で選び、住民の意思と社会の良識を反映させることが本来の姿と言われるが。

町長 公選制に問題が発生し現行制度に移行した経過がある。現状が専門家の判断に頼らず、広く地域住民の意向が反映された教育行政であると考えている。

教育長 教育行政の中

立性、安定性、継続性を確保する観点からも現行制度を維持し、体制の充実を図る。

問 教育委員会の独立性は十分発揮されているか。

教育長 町長や各部局と日々緊密な連携のもとに、委員会としての独立性は保たれている。

小中学校に空調設備の整備を

問 今夏は連日猛暑日であった。学ぶ側も教える側も集中できず、また子どもたちの心身の健康を守る上からも教室に空調設備を整備すべきでは。

教育長 本年の湿度・湿度観測データを分析・研究して計画的に取り組んでいく。



収穫が待たれる京丹波ブランドの黒豆



森田 幸子 議員

実行力のある空き地管理 指導に取り組むべきでは

町長 改善の督促を行うなど実行力向上につながる取り組みを行う



適切な空き地管理が望まれる雑草地（須知地内）

問 空き地管理の苦情については所有者に文書、手紙などで通知しても反応がなく、周辺住民は非常に苦慮していると聞く。旧町別の苦情件数は。

町長 23～25年8月までの状況は丹波72件、瑞穂54件、和知0件である。

問 他市町村の取り組みも研究したいとのことであったが、その後どうであったか。

町長 草刈りの委託制度や草刈り機貸出制度、また業者の紹介制度など他の団体の取り組みも研究している。対応のない所有者には定期的に調査のうえ、改善の督促を行うなど実行力の向上につながる取り組みを行う。

問 女性ホルモンの減少により体と心にさまざま

住民健診で骨粗しょう症検診を

さまざまな変化が現れる。特に閉経後では、「骨粗しょう症」などに気がつけたい。住民健診で「骨粗しょう症検診」を取り入れる考えは。

町長 超音波法での検診では検査のばらつきがあり、保健指導がむずかしいとされており、現在のところ導入の予定はない。

問 正確な検査でなくても目安として、取り入れる考えは。

町長 転倒予防として個人の骨密度を知って予防に努めることは大事なことである。イベントなどで検査を取り入れ、あくまでも目安として指導を行う。

軽・中等度難聴児に補聴器購入の助成を

問 聴力検診は新生児3歳児健診、幼稚園の3回である。難聴児対象児はあるのか。小中学校での対象児は。

教育長 幼稚園児まで

の対象児はない。小学生に2人、中学生に1人となっている。学校生活に支障をきたすところまでには至っていない。場合によっては前に座らすなどの対応をしている。

問 乳幼児期や学齢期は言語の習得やコミュニケーション能力の発達にとって重要な時期で専門家は早期の補聴器装着を勧めている。補聴器購入費用への助成をする考えはないか。

町長 教育委員会とも協議し、調査研究する。

高齢者福祉施策のガイドブック作成を

問 高齢者にも家族にも、わかりやすくまとめたガイドブックを作成し配布する考えは。

町長 27年度からの京丹波町高齢者福祉計画および第6期介護保険事業計画作成時に合わせて作成する。



町営バスの敬老乗車パスの発行を



篠塚 信太郎 議員

町長 高齢者支援対策として検討したい

問 高齢者の買い物・外出支援対策として、敬老乗車パスを発行しては。

町長 福祉施策として総合的な高齢者支援対策として検討したい。

問 南丹市のように予約制のタクシー型デマンドバスの実証実験運行をしては。

課長 両職員間で情報交換している。今後総合的な検討の中で研究したい。

サル集団の全頭捕獲と防護施設の設置を

問 サル集団全頭を捕獲する方針で猟友会と協議しては。

課長 和知地区で猟友会の協力を得て、今後も銃による捕獲を実験的にしていく。

問 サルの防護施設（仮称）ネットハウスを民間業者と共同で開発し、試作施設を設置しては。

町長 サル防止施設は、京都府農林水産技術センターで研究していた。大きく依頼したい。

問 使われていないビニールハウスを融通し合ってサル除けネットハウスに再利用しては。

町長 使われていないものを活用することは、良いことだ。

町有未利用地の処分と公共施設の有効活用を

問 3万6千㎡、価格12億7500万円の未利用地の有効活用は。

町長 農業分野や食品など企業誘致に努めた。

問 町民の出資で、太陽光パネルを設置する「市民協働発電制度」や町有施設を民間業者に有償で貸し出す「屋根貸し制度」を導入しては。

町長 今の提言は有意義な施策である。民間からの申し出については、積極的に取り組み

たい。

問 町有未利用地を住宅建設する条件で、宅地を格安で販売しては。

町長 和知地区本庄地内で、住宅団地を分譲の設計中であり、来年度以降販売したい。

町の鳥・木・花の町民への普及と町づくり計画は

問 町の木「イチヨウ」

を、街路樹や公共施設に植栽しては。

町長 検討する。

問 町の花「つつじ」を希望者に無償で苗を配布しては。

町長 積極的に検討したい。

問 町の鳥「うぐいす」を保護し増やすため巣箱を設置しては。

町長 町のシンボルとして保護していきたい。



敬老乗車パスの発行で町営バス利用者増を



松村 篤郎 議員

府道京丹波三和線下山 工区の地元説明会を

町長 これまでの立会結果などの説明会を府に要望する



狭隘箇所きょうあいの拡幅が待たれる府道（知野辺地内）

問 府道京丹波三和線の完成予定が大幅に遅れてきている。特に下山工区は沿線の路線の改良整備計画すら示されていない。

町長 地域への説明会を府に要望すべきではないか。

問 地権者との立会の結果についての説明会はお願いしていく。

町長 府道とバイパスをつなぐ新たなアクセス

問 道「夢の架け橋」の実現に向けて、取り組みを推進すべきでは。

町長 下山工区の未改良部分の計画策定が重要であり、関係機関との協議を先に進めたい。併せてアクセス道の整備についても検討が必要である。

畑川ダム周辺整備計画について

問 設計業務は、計画

町長 通り進んでいるのか。

町長 畑川ダム周辺整備連絡会で導入施設や施設規模を検討し、基本の計画案を取りまとめている。

計画案を地元で説明し、意見などを反映した基本設計に取り組み。

問 説明会はいつ開催予定なのか。

課長 説明会は今年中に実施する。

問 町道235号の供用開始後は通行車両も増加する。下山バイパスとの交差点に信号機と横断歩道の設置を要望すべきでは。

課長 25年3月末現在の要介護認定者は、1126人で65歳以上の方の17・6%が認定を受けている。

利用者は居宅サービスが663人、地域密着型が21人、施設サービスが284人。特に独居や高齢者世帯での介護サービス利用者が増加している。

課長 民生委員が活動の中で行っている。

アンケート調査や健診の結果説明会でも実態の把握に努めている。

問 支援が必要な在宅高齢者と利用者はどのくらいあるのか。

課長 民生委員が活動の中で行っている。

アンケート調査や健診の結果説明会でも実態の把握に努めている。

問 在宅高齢者の生活実態はどのように把握しているのか。

課長 民生委員が活動の中で行っている。

福祉行政について

問 地域包括ケアシステムの構築はできたのか。提供している事業は。

町長 介護よろず相談所、2級ヘルパー養成



住民健診の受診率アップ で医療費の減少を



坂本 美智代 議員

町長 未受診者への指導を強化する

問 住民健診の受診率アップと結果による指導強化は、医療費の削減につながる。そのための対策と取り組みは、**町長** 受診への通知と指導強化に努める。

問 和知診療所に眼底カメラが購入されたが、住民健診の会場で活用できないのか。**課長** 診療の中で活用している。

問 年々、人工透析を受けられる方が増加した主な原因は、**町長** 糖尿病の合併症の増加などが考えられる。また、京丹波波町病院での人工透析の受け入れは、専門の医師並びに看護師の配属が必要なことから困難である。

問 医療費の負担増・介護サービスの引き下げが政府は70歳から74

歳までの方の窓口負担を現行1割から2割に引き上げるとしている。窓口負担が増えれば受診を抑制し、かえって重症化となる恐れがあると考えるが。**町長** 負担能力に応じて、一定の負担を求めざるを得ない。

問 要支援1と2の認定者を介護保険制度から外し、市町村に移行することから住むところにより、サービスの内容が違ってくるのではないか。**町長** また、介護サービスの利用料は、現在一律1割負担である。これを夫婦年収が300万円以上の方を対象に、2割に引き上げるといふものである。本町への影響はどうか。**町長** 町への財政負担も増えると思われる。所得に対する利用料への負担増は、やむを得ないと考える。



デイサービスを楽しみに

教育に適した環境整備が必要である

問 この夏は経験したことのない暑さが続いた。各教室での温度測定報告を受け、エアコン設置の必要な教室はなかったか。**教育長** 6月から各教室の温度測定を実施中であり、報告を受け計画的に取り組みたい。

問 蒲生野中の女子トイレは窓もなく暗く、風向きにより臭いが教室に漂う。抜本的な改善が必要ではないか。**教育長** 臭気発生の原因を追及し改善を図る。

問 教育委員のうち、女性1人である。子育て世代の親の目線を生かすためにも女性の登用を増やすべきではないか。**町長** 就任依頼を強化したい。



東 まさ子 議員

上豊田保育所の改築を

町長 審議会で検討結果いただき、方向を出したい



狭い中庭（上豊田保育所）

問 上豊田保育所は、発表会も全員一同に実施ができないほど狭い遊戯室、十分遊べない中庭など、子どもの育ちにふさわしい環境とは言えないのでは。

町長 老朽化は認識しており、子ども子育て審議会で検討いただき、方向を出していく。
問 子ども子育て新シ

ステムの今後のスケジュールは。

課長 本年度にニーズ調査を実施する。26年10月をめどに計画を策定し、27年4月からスタートする。

大型車両通行の再検討

問 丹波パーキングエリアと地域拠点施設への土砂搬入について、

竹野・安井ルートを通行する計画が提示されたその根拠は。

町長 パーキングエリアから2車線の道路が確保でき、国道9号へ至るルートとして検討された結果である。

問 長期にわたる大量の土砂運搬については、縦貫道工事を精力的に進め、その道路を土砂運搬専用道路として使用するべきである。広域農道は、大型車両42台通過として設計施工されている。また、町道は舗装構造からみても大量の大型車両の通行は無理ではないか。

町長 本線工事が順次進むので、運搬ルートとして走行が可能となり、一般道への負担は減ってくる。

問 水戸交差点と竹野小学校付近のカーブは危険なため、それぞれ道路改良の要望活動がされている。安井地内は生活道路であり狭小

な区間、未改良の仮設の橋や歩道がないなど問題を多く抱えたルートである。再検討して取りやめるべきではないか。

町長 生活環境、交通安全対策に十分配慮対策を講じた上で、利用されるべき。

払える国保税に

問 24年度国保会計は、5100万円の黒字決算となった。保険税の引き下げを。

町長 国などの負担金の過大交付分が含まれており、今後返還が必要となる。24年度のみ黒字決算での引き下げ判断は困難である。

問 減免制度の要綱の整備を。また、保険税の減免も広く適用できるようにすべきでは。

町長 府内の標準的な基準に基づき策定に向け準備している。保険税の減免についても検討していきたい。



小中学校の普通教室に冷房の設置を



北尾 潤 議員

町長 検証結果を踏まえ、的確に応えていきたい

問 小中学校における熱中症の報告は。

教育長 普通教室においての熱中症の報告はない。中学校の運動場や体育館で軽症であるが、昨年度は3件、今年度はこれまでに2件の報告がある。

問 全ての普通教室に冷房の設置を。

教育長 現在、全ての普通教室の温度・湿度を測っている。しっかりと研究して、計画的に取り組む。

問 来年度から設置してもらいたい。教育委員会から予算要求があったとき、町長としての考えは。

町長 調査・報告を受けるのが10月である。検証結果を踏まえ、教育長の意向を最大限に尊重し、決断する。

琴滝のトイレを水酸化に

問 琴滝の位置づけは。

町長 本町を代表する

観光資源と考える。

問 本町を代表する観光資源であるのに、トイレがくみ取り式で暗くて怖く、観光客を迎え入れる体制ではない。水酸化しては。

町長 できるだけ早く水酸化していきたい。

問 琴滝上部のため池の地震や台風による防災対策に向けた調査の予定は。

町長 町内6カ所の耐震診断の実施と、ため池ハザードマップを作成する。

新築移転する丹波高原荘の排水の環境整備を

問 蒲生地内の高原小跡地に丹波高原荘が新築移転されるが、本町にとってどんな役割が期待されるか。

町長 町内の特別養護老人ホームは満床状態が常態化しており、入所待機者の解消につながるかと期待している。また、地域の介護力の

向上に果たす役割が大きいと考える。

問 以前から水はけが悪く水害の不安があった地域だが、排水の環境整備は十分か。

町長 地元と十分に調整を図りながら整備計画を進めている。

丹波自然運動公園を教育に利用できないか

問 小中高等学校教育の中で、公園の競技場

や施設を利用できないか。

教育長 記録会や球技大会などで利用しているが、今後とも積極的に公園を活用し、子どもたちの持つスポーツの才能を開花させたい。学校の先生や体育の先生の意見なども聞きながら、授業やクラブ活動での取り組みを検討したい。



熱中症対策の万全。元気に運動会（丹波ひかり小学校）



山田 均 議員

「原発再稼働するな」と関電に言うべき

町長 再稼働には反対している



完熟堆肥の活用で「有機の里」づくりを（保井谷地内）

問 福島第一原発では「収束」どころか、汚染水の地下・海への漏水など深刻な事態が拡大している。事故原因の究明も進まず、重大事故対策や避難計画、訓練も市町村まかせで、安全協定すら結ぼうとしない。住民の命を守る立場から「再稼働するな」と関電に言うべきである。

町長 再稼働には否定的な思いだが、代替エネルギーの見通しがたっていないため、反対する行動までの考えには至っていない。

町づくりの基本は平和であること

問 安心安全な町づくりの基本は、平和であること。

町長 集団的自衛権とは、同盟国への攻撃を自国攻撃と見なし、共同で

攻撃を行う権利のこと。自治体の長として、住民の平和と命を守る立場から見解は。

町長 この問題は、国政の場でしっかりと議論すべきと考える。

「有機の里」づくりを農業振興の柱に

問 安心安全な農産物の生産は、農業振興の基本である。完熟堆肥を使用した栽培指針を作り、牛糞堆肥を活用した「有機の里」づくりを農業振興の柱にすべきである。

町長 有機栽培の基準をクリアするのは難しい。「有機の里」づくりは、農業団体などから声があれば具体化しやすい。

サル対策は急務

問 サルを餌付けして捕獲する方法に取り組みすべきでは。

町長 餌付けで捕獲する方法は、取り組みに

地元の協力が必要であり、町としてその取り組みにあらゆる支援をしたい。

住宅改修補助金制度は引き続き実施を

問 循環型経済対策として大きな役割を果たしている住宅改修補助金制度は、13倍から15倍の経済効果が出ている。引き続き実施すべきでは。

町長 引き続き実施する方向で検討が必要。

4月からの消費税増税は中止すべき

問 消費税は逆進性の強い、弱い者いじめの税金であり、暮らしにも町財政にも大きな負担となる。4月からの引き上げは中止すべきでは。

町長 逆進性については配慮すべきと考えるが、本町の財政的には地方消費税分が増えるという認識である。



閉会中の委員会報告

総務文教 常任委員会

職員定数について議論されるなか、類似団体との比較のみを基準とせず、住民が求める事業執行が可能な職員体制の確立を基本として議論を進めるため、本委員会では7月31日に瑞穂及び和知支所・教育委員会・情報センターを現場踏査した。



和知支所での聴取

地域の窓口として、常に住民の声に身近で迅速な対応が求められる両支所の現状。町全域をカバーしながら貴重な生活情報を正確に発信する情報センターでは、機器保守の現状や番組編成の課題について、教育委員会では新給食センターの運用状況と安全な通学環境などを聴取した。

各機関の業務は多岐にわたるが、限られた人員で常に住民に身近で優しい対応を目指す姿勢に感心した。今後は本庁との連携を一層強化し、さらに効率的な事業運用を求める。

産業建設 常任委員会

8月20日に開催し、所管事業状況の説明を受けた後、現地踏査を実施した。

◎監理課

公共工事に係る最低制限価格算定に用いる係数のうち、一般管理費にかかる係数を0.55に改正した。

◎産業振興課

府の有害鳥獣捕獲強化対策として、猟期中4頭〜10頭に報奨金1



ほうしょういけ 改修工事予定の豊昌池（安栖里地内）

ほうしょういけ 豊昌池の改修工事に係る事業費は、平成25年度〜26年度で総額9400万円となり、地元負担は20%の事業である。

頭あたり40000円が支給される。

◎土木建築課

道路新設改良事業の進捗状況、ハイウェイテラス京たんば整備事業12月実施設計、縦貫道工事進捗状況などの説明を聞く。

◎水道課

上水道台帳整備の本年度末の完成を目指す。和知西部取水場の築造の完成、西部地区浄水場施設整備は80%完成で、工期は10月末まで。

◎現地踏査

臨時会

8月7日、第2回臨時会が開催され、2議案を審議し可決しました。

◎除雪装置付自動車購入契約

和知支所管内に配置している除雪車の老朽化に伴い、除雪装置付作業車両2台を徳岡商会(株)から、933万5500円で購入し、納期を25年12月1日とし契約を締結するもの。

「全員賛成」

◎小型動力ポンプ付積載車購入契約

消防車両配備計画に基づき、各部に配備している消防車両を順次更新する。



同型の救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから どないなっとるんや〜？

問 新設された「ファミリーサポート事業」の現状は。

町長 さらに広報することで登録者・利用者を増やし、活発な事業運用を目指す。

問 和知第二小学校跡地利活用の計画は。

町長 老朽化し危険な旧校舎を解体撤去後、今後の利活用について模索する。

こうなった！

社会福祉協議会に運営を委託し、25年3月末時点で依頼会員20人・提供会員18人・両方会員2人の方に登録いただいている。安全な運営を目的とした講習会を経て、今日までに延べ133回の実活動を実施した。



会員を対象とした講習会

こうなった！

要望に基づいた屋根付き多目的施設の整備を進めている。

今後は有効な施設建設に向け、要望者との維持管理についての協議や地域ニーズの掌握、競技人口推移や類似施設の研究を行い、施設内容を決定する。



解体工事が完了した第二小学校跡地

こちらの水で炊いたご飯は 本当においしいです



今回は、今年7月に兵庫県・西宮市から本町の広野区へ引っ越して来られた、正岡佑基さん(35)・希美さん(31)夫妻にお話をうかがいました。



―本町に来られたきっかけは。
佑基さん 趣味と副業の間でやっていた力バンや財布づくりを本格的にやるうと思ったことがきっかけです。木槌を打ち込む音がうるさくてマンションでは迷惑かな、とか、機械が重たくて床が抜けるかも、みたいに考え始めたことと、以前から田舎で生活をしたいと思

っていたもので。
この町は、和歌山県や淡路島、綾部市を含むいくつかの物件から、環境・条件面で相談していくうちに絞られていきました。

―都会から本町へ来て、不便は感じませんでしたか。
佑基さん 2人とも昔から山が大好きで、登山関係の仕事についていたくらいなので、テント暮らしまでは適応できる自信があります。希美さん 不便は感じません。ただ、自分たちで家を改修しています。お風呂は完成したのですが、まだ台所がありません。(佑基さんに向かって)いつできるんですか。

佑基さん すみません。8月に完成の予定だったのですが(苦笑い)10月いっぱいにはできる予定です。
―びっくりしたことはありませんか。
佑基・希美さん 水がおいしい！佑基さん 西宮から持ってきたお米なのに、全然味が違ってびっくり

りました。こちらの水で炊くと本当に美味しい。

―本町の印象は。

佑基さん 西宮よりも人と人とのつながりが濃いだろうと思っていました。思った以上に良くしてもらっています(笑)。

希美さん 行政サービスの良さに驚いています。引っ越してきたばかりで、まだ、私たちがどこの誰かもわからないのに、無料で今までもよりも充実している健康診断を受けられました。あと、町長と語るついでで、生活に関する質問や要望などがたくさん出されています。このような要望を直接町長さんに言える機会があるというのは、大きな市ではありえないことだと思います。

佑基さん ただ、残念だと思つことは、せっかく福祉や空き家バンクなどの充実している施策が他にもいろいろあるのに、町外に向けて宣伝できていないような気がします。仕組みがあっても発信されていないからもったいない。インターネットなどももう少し利用するだけで、本町に興味を持つ人たちも絶対に多くなると思います。(記者 J・K)

議会の傍聴に お越しください!

次回の議会日程は
下記のとおりです。

12月定例会

手続きは、受付簿に住所・氏名
を記入するだけです。

編集後記

このたびの台風18号により、被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。

先日、ある会場で行われた町長と語るついでで、「もうすこし議会だよりの内容を増やして欲しい。議会で話し合われた内容をもっと細かく知りた

い。」という要望がありました。力不足を痛感すると同時に、4年間広報委員をやってきて良かった、という気持ちも湧いてきました。

わかりづらい部分もあったと思いますが、1文字にいたるまで侃々諤々の議論の中で編集してまいりました。その熱意が少しでも伝えられていたなら嬉しい限りです。

私たちは11月で4年の任期が終わります。稚拙な文章をご愛読いただき、本当にありがとうございます。

(J・K)